「ありがとうという温か言葉を大切に・・・」

11月13（金）

本日1年生は３・４校時に全盲である酒井雅和さんを講師に迎え、「豊かな心をはぐくむ講演会」を行いました。生徒と一緒に給食を食べたり、掃除をする中で生徒たちと対話をされるのが酒井さんのスタイルです。酒井さんとは三田市の中学校で一緒に勤務をしました。酒井さんは社会科の教師で軟式野球部の顧問も務められていました。丹波篠山市に戻られても教鞭を続けられていましたが、2006年にモヤモヤ病により突然全盲になられました。命を絶ちたいと思うほどの絶望の日々を送られますが、明るさを取り戻されたのは、2007年夏に「京都ライトハウス」の鳥居寮に入寮されてからでした。同じ境遇の人や職員との出会いで心がほぐれ、歩行やパソコンなど社会復帰のための訓練生活を送られました。酒井さんは次のように述べられています。「見えなくなったときは絶望のあまり、走行中の車から飛び降りようとしたこともありました。しばらく引きこもりのような絶望の日々を送りましたが、家族の勧めで入寮した「京都ライトハウス」の鳥居寮での社会復帰訓練で、少しずつ自信を取り戻したんです。まだ馴染めなくて一人でいる頃、そこの先生がおっしゃいました。『あなた、いいとこあるんですよ。あなたの鼻はよく利くし、触ってわかる力強い手足もあるし、耳も良く聞こえる。そしてゆっくりわかりやすく喋れるじゃないですか。それだけいろんな体の機能が残っているのに、目が悪いだけで落ち込んで。残っている機能を活かしていったら、まだまだできることあるじゃないですか』と。もう終わったと思っていたのに、褒めてもらえて嬉しかった。まだ私には能力が残っているなあ～、チャレンジしてみようと思えたんです。」と。標題の「ありがとうという温か言葉を大切に・・」は酒井さんが大切にされている言葉です。お世話になりありがとうございました。

●酒井さんが大切にしている言葉

３つのf （エフ）　　fresh、fight、for the team

「fresh」は、例えば授業１時間目のはじまるときのような新鮮で引き締まった気持ち。それを大切にしようということです。

「fight」は、やるとなったらやらなしゃあない、熱くなってやろう！ということです。ただし、周りに気を配りながら。

「for the team」は、一緒に取り組む人と声を掛け合いながら、みんなで盛り上げながら目標に向かっていこうということ。個性が集まり、日々の関わりがあって、その積み重ねで自分が向上していくのだ、ということですね。

「豊かな心をはぐくむ講演会」の様子











